



学校だより

No.10月号
令和4年9月30日
横浜市立洋光台第四小学校

～ 手を取りあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～
ホームページもご覧ください。www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

だれもが安心してすごせる学校であるために

個別支援学級担任 杵渕 直子

秋の声が聞こえる時期となりました。朝夕は肌寒さを感じることもありますが、日中はまだ暑い日差しの中、児童の元気な声が聞こえます。2学期は運動会をはじめ、多くの行事が予定されています。個別支援学級・4くみの児童も、それぞれめあてをもち、多くの友達と関わりながら学校行事や学年行事に取り組み、活動しています。

横浜市の特色に、すべての学校に個別支援学級があるということがあります。個別支援学級は、様々な特性をもった児童一人ひとりの教育的ニーズに応じて目標を設け、指導・支援していくことを目的としています。

下のようなイラストをご覧ください。3人の子が、塀の向こうの野球の試合を見ています。

①では、背の高い子も低い子も同じ高さの踏み台に乗っています。でも、左の子には試合が見られません。人の身長はそれぞれ違うので、同じ高さの踏み台に乗るだけでは、塀の向こうの様子が見える子と見えない子が出てしまうのです。

②では、背の低い子は高い踏み台に乗り、背の高い子は踏み台に乗らずにいます。結果として、みんなが試合を見ることができます。それぞれに合った高さの踏み台を用意することで、みんなが塀の向こうを見られるようになります。

それでは、③ではどうでしょう。3人とも踏み台に乗っていませんが、塀が見通しの良い金網に変わっています。これでならば、踏み台がなくともみんなが試合を見ることができます。



※図は、<https://www.teensmoon.com/chart/>より引用

特別支援教育に「合理的配慮」という言葉があります。一人ひとりの特徴や場面に応じて発生する障害・困難さを取り除くための、個別の調整や変更のことです。②のように一人ひとりのニーズや困り感に寄り添った支援をするとともに、③のように誰にとっても便利なよう、支援が特別から当たり前になる環境にしていくことも重要です。誰もが安心した気持ちで学校ですごせるようにするために、どのような支援や環境が必要か、職員一人ひとりが考え学校全体で取り組んでいます。保護者や地域の皆様からのご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。